

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
1	有限会社ウイルパワー	廃棄資源を環境・社会・経済に役立てる越境循環システム	リユース可能な資源を発展途上国で循環ビジネスを展開し、現地の生活向上（雇用）と障がい者の雇用促進を図り、持続可能な社会の実現を目指す。 ①国内で廃棄されるリユース可能な資源の流通システムを発展途上国で構築し、国内廃棄物削減と現地の貧困層の生活向上に寄与する。 ②独自開発した「海外リユースバン詰システム」を運用し、種類・形状・数量が多岐にわたるリユース資源の輸出書類の簡略化とコンテナ積載物の透明化により、国際問題化している廃棄物輸出の健全化を図る。 ③地域住民の協力で資源ごみを回収し、分別による収益金の一部を障がい者雇用や福祉活動に寄付、循環型社会の市民活動として貢献する。	倉敷市	<a href="https://www.doguya.com/">https://www.doguya.com/</a>
2	大紀産業株式会社	国際協力機構（JICA）と連携した、アフリカ スーダンでのSDGs活動	発展途上国では、収穫した作物を露店や路上で販売し、売れ残った商品を廃棄しており、実際には農産物の約半分近く、ロスしているのが現状である。当社の電気乾燥機を導入することで、常温で長期間保管可能な乾物が作れ、発展途上国の農業生産者の所得向上と食品ロスの貢献に大いに期待できる。アフリカ スーダンでは電気乾燥機を導入し、乾燥タマネギを生産している。乾燥タマネギを作ることで生タマネギと違い、価格の乱高下なく、安定した価格で販売でき、かつ常温で長期間保管できることから、SDGsの『1.貧困をなくそう』・『2.飢餓をゼロに』などの項目に貢献している。また、乾燥タマネギを作る加工で、洗浄→スライス→乾燥→包装と機械化を導入し、軽作業の為、社会進出しにくいイスラム農村部で女性が働ける職場（女性の新規雇用・所得拡大）を創出している。これはSDGsの『5.ジェンダー平等を実現しよう』の項目にも貢献している。現地では女性生産組合を結成し、加工から販売まで一貫して女性だけで行っている。	岡山市	<a href="https://www.taikisangyo.co.jp/">https://www.taikisangyo.co.jp/</a>
3	株式会社JTB 岡山支店	SDGs取組発表会『Be live』の開催	『Be live（ビーリーブ）』は、2021年2月に行われた、SDGsを共通言語に、高校生と企業のアイデアや経験を融合し、豊かで活力ある未来に向け共創するイベントです。岡山県内の高校生や企業（全21チーム）が参加し、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成に向けた独自の取り組みをプレゼンテーションする機会を設けました。	岡山市	<a href="https://branch.itbbwt.com/i6581-0">https://branch.itbbwt.com/i6581-0</a>
4	セロリー株式会社	ヒトと環境にやさしい持続可能な社会へ〜Re,ユニフォームプロジェクト	当社はユニフォームの企画・製造・販売を通じて、SDGs達成に向けた「ヒトと環境にやさしいユニフォームづくり」に積極的に取り組んでおります。まず、当社の製品を利用して頂くお客様に対して、快適な着心地のユニフォーム提供に向けた商品開発・技術向上を重ねております。また従業員が働きやすい職場環境の整備（ワークライフバランス等）に真摯に取り組んでおり、社員とその家族も大切にしている企業文化が根付いております。最後に、1997年以来続けている「環境と調和」をテーマとした環境保全活動の一環について、2019年より「Re,ユニフォームプロジェクト」として新たに始動しております。以上の取組を通じて、顧客・取引先へのSDGs浸透、また社内へのSDGs取組意識醸成に繋がっております。	岡山市	<a href="https://www.selery.co.jp">https://www.selery.co.jp</a>
5	合同会社五雅プランニング	持続可能な農業を岡山から	サステナビリティと環境への配慮を新しい形で体現。 持続可能な農業支援を目指すエコブランド「LE LION」の運営。 生活雑貨部門として岡山市の古米を活用し、フードロスの削減を目指した玄米カイロなどの製品作り。多くの方に興味を持っていただける、手に取りやすいデザインが好評。 廃棄物0を目指しその他、木材の廃材を利用した脱臭剤や、コロナ禍で出番を失ったコスメも利用したキャンドルを販売している。岡山市内を中心としたワークショップの実施もしており、将来的にはインバウンド旅客の誘致も予定。 また、SNS部門では積極的な情報発信を行っており、若い世代のユーザーも参加しながらブランドを作り上げている。商品を手にとった人が環境や農業について考えるきっかけを作りたいという思いのもと、SNSを通じて、様々な年齢層に環境について発信している。	大阪府	<a href="https://le-lion.info/">https://le-lion.info/</a>
6	山陽環境開発株式会社・いみ清掃株式会社	ダイバーシティ雇用	小さい会社ならではの柔軟な、一人一人の事情に合わせたダイバーシティ雇用を推し進めている。年齢や、障がい者手帳を持っている、などのラベルで間口を閉じるのではなく、ご本人の能力で採用の判断をすると共に、社員がより働き甲斐を感じてもらえるよう制度を更新している。 障がい者雇用については当社での継続的雇用を目指すことに加えて、前職等で働きづらさを抱えてしまった方に対して、正社員雇用をしてもらえる別事業所への就職に向けた中間的就労の場としても当社を活用していただいている。 多様な働き手がいることは、社員の成長にもつながり、地域で働く先が見つけにくい方の採用、働き手確保が難しい地域での地域外からの採用は地域貢献にも繋がっています。 ダイバーシティ雇用により、採用が難しい中山間地域での人材確保が経営の安定にも繋がっています。	新見市	<a href="https://sanyokirei.com/">https://sanyokirei.com/</a> <a href="http://niimikirei.com/">http://niimikirei.com/</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
7	倉敷芸術科学大学	SDGs:地域の繊維産業を「芸術(アート)のチカラで科学(デザイン)する。」	①学生に、担当授業を通じ、地域のデニムを中心とした繊維産業の仕組みや地域の企業を紹介する ②各企業が行っている「SDGs」の活動を紹介する ③時代のニーズに合わせた、学生目線での商品開発の提案 ④作品製作 ⑤学内での展示 ⑥専門紙掲載(織研新聞、繊維新聞) ⑦地域での発表	倉敷市	<a href="https://www.kusa.ac.jp/">https://www.kusa.ac.jp/</a>
8	with FASHION co.(ウイズファッションコーポレーション)	「SDGs ウイズ FASHION」	F1:企業研修 似合う「ファッション診断」をし、第一印象を良くする 自分の魅力を知り外見力がアップし、売上げもアップ。 F2:おしゃれになる講座 本来の自分の魅力を確認するファッション講座 無駄な購入の減少 ファッションで予防医療 F3:コンサルティング(添付データ) 現在の消費者のニーズに合った提案「骨格スタイル別のシャツ&ジーンズ」でのブランドデビューのコンサルティング クラウドファンディングの目標達成 各個人の個性を活かし、お洒落で、無駄のない購買が出来る F4:カラーの知識や魅力の普及 検定対策講座(大学・個人) ユニバーサルカラーの知識を広げる。 F5:Reデザイン・Reメイク(思い出を大切に) 創意工夫で、循環型のファッション F6:サステイナブル(環境・社会・経済の中で、出来る事) 社会活動:パラ×コレ(障害者×コレクション) サポーター 瀬戸内市縁結びサポーター	瀬戸内市	<a href="http://with-fashion.sakura.ne.jp/">http://with-fashion.sakura.ne.jp/</a>
9	株式会社ソーデン社	ソーデン社機動部隊(通称SKB) ※S…ソーデン、K…機動、B…部隊	当社では、社会貢献活動も社員教育の一環と考え、東日本大震災・広島豪雨土砂災害・熊本地震災害・西日本豪雨災害等にボランティアとして全国の営業所から社員が参加しました。社員ひとりひとりが地域や環境のことを真剣に考え、実行しています。 また、【ソーデン社機動部隊】として各営業所の人員不足など緊急時に対応できる様に応援体制を確立しています。機動部隊を活用して震災時の復興支援、応援補給物資の調達、お届け、瓦礫撤去に至るまで様々なボランティア活動を行なっています。	岡山市	<a href="https://www.sodensya.co.jp">https://www.sodensya.co.jp</a>
10	学校法人 順正学園ボランティアセンター	順正デリシャスフードキッズクラブ	順正デリシャスフードキッズクラブは、0才から中学生(15才以下)までの子どもを養育し、かつ生活が困窮している家庭に対して、無償で食料品を配送することで、子どもの健全な育成と、世帯の自立を支援する取り組みです。 岡山・宮崎両県の9市町を対象に、毎月1回(第3木曜)、主食・副食・嗜好品等を箱に詰め合わせ、宅配便で個別に配送しています。 配送する食料品は、順正学園が独自に用意するほか、企業・団体等から外箱の破損、返品、防災品の入れ替え等により、商品として流通しなくなったものを寄贈していただき、すべて無償で提供します。	高梁市	<a href="http://volcen.kiui.ac.jp/">http://volcen.kiui.ac.jp/</a> (順正学園ボランティアセンター) <a href="http://volcen.kiui.ac.jp/jei-dfk/">http://volcen.kiui.ac.jp/jei-dfk/</a> (順正デリシャスフードキッズクラブ)
11	NPO法人あつたか演劇研究会	NPO法人あつたか演劇研究会岡山支部	2007年5月NPO法人あつたか演劇研究会設立。代表川本充佐子。本部は大阪市淀川区東三国4-4-15コラム新大阪402。岡山支部として、地域に根ざし、広く一般市民を対象に世代を超えた交流を基本とする演劇制作のプロセスの中で、総合的な人間力(コミュニケーション能力、思考力、創造力など)を高め豊かな社会の実現を目指しております。また演劇の脚本には社会問題をテーマにオリジナル制作から取り組み、出演者、スタッフ、観客が一体となり社会問題を自分の問題として捉えてゆけることが出来ると考えております。	岡山市	なし

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
12	株式会社ヒカリホールディングス	世界のストリートチルドレンや貧困をなくすプロジェクト	ヒカリホールディングスでは、世界のストリートチルドレンや貧困問題の解決への取組みを行っています。運営のコア事業として『チャリティー自動販売機』を学校や企業に協力してもらい設置し、貧困問題の現状を知ってもらい、売上の一部をAWPSに寄付することで活動を支援しています。活動を続ける中で昔支援をしていた子どもたちが、大人になり路上生活から脱却し就職して健全に生活していたり、一緒になってフィリピンのNGO活動に参加している姿を見られることにやりがいを感じています。一人でも多くの子どもたちの笑顔のため、貧困問題解決に貢献します。	岡山市	<a href="http://hikari-grp.co.jp/">http://hikari-grp.co.jp/</a>
13	梶岡建設株式会社	社員・地域の方々で行うSDGs達成に向けた取組	①BCP認定の取得 ②健康経営の取組活動(ウォーキングイベント開催等) ③インターネット・デジタルデータを活用した情報量の均一化	真庭市	<a href="https://www.kaijoka.co.jp/">https://www.kaijoka.co.jp/</a>
14	株式会社丸五	足元から健康づくり “Make it new 倉敷から世界へ”	100周年を機に“make it new”という目標を掲げ全社的に活動を行っております。その中でも創立以来、作り続けている地下足袋の生産技術を生かし、地下足袋ならではの履き心地の良さを活かした、新しい足袋シューズを倉敷から世界へ発信しています。 『足袋は足指をしっかり動かすことができ、足本来の動きを妨げないことから良いとされている。』この事実を国内外へ波及させる事、足元から健康づくりに貢献する事を目標に足袋シューズ専門の部署を新たに発足しました。 地下足袋の認知度向上やイメージ刷新を図るため、岡山名産のデニムを使用して普段使い出来る足袋の生産を行っています。相乗効果として地元企業との共同発展を図っています。	倉敷市	<a href="https://www.marugo.ne.jp/">https://www.marugo.ne.jp/</a>
15	社会福祉法人 藤花会	中高生への福祉教育～おかやま未来プロジェクト～	地元企業の、ひいては岡山(日本)の労働力確保のために、中高生への福祉教育に取り組んでいます。 「老人ホームが見つからないなら、私が退職して介護するしかない」 もし、我々のような介護業界が機能しなくなると、介護離職が増加し、岡山(日本)の労働人口はさらに減少してしまいます。私たちは未来の介護人材の育成のため、中高生への福祉教育をスタートさせました。 「老人ホームに入所(利用)したとしても、イキイキ楽しそうに暮らしているなあ」 「職員さんが笑顔で働いている!」 こんなイメージが中高生に根付くことを期待し、ワークショップ等を通じ、中高生の意見を取り入れながら活動を進めています。また、水平展開を期待し「藤花会モデル」を策定し、2023年には全国規模のフォーラムで発表できるよう準備を進めます。	岡山市	<a href="https://www.tohkakai.jp/">https://www.tohkakai.jp/</a>
16	ゆるボラin真備	自転車による地域活性化	地元企業各社の寄贈によりサイクルスタンドを飲食店等に設置して、サイクリストの立ち寄りを増やし、活動をメディアで取り上げていただくことで、店と支援企業の魅力を知ってもらい町外からの流入人口を増やし地域を活性化させる。 従来の一過性のイベントでなく、サイクリストの利便性を高めることで店への新たな層の集客と近隣からの繰り返しの来店を増やしサイクリスト同士の繋がりやメディアへの露出により、まちの豊かな自然や店と寄贈していただいた企業の魅力を広く認知してもらおう。 イベントのためだけにつくりあげたものでなく、そのままの魅力を継続的に広めていきます。	倉敷市	なし
17	株式会社テオリ	地元真備産の孟宗竹を活用した「竹循環型社会」を目指す	優れた地域資源である竹をつかった家具製造を通じて、「竹循環型社会」を目指しています。 真備町は毎年150,000,200トンの良質な筍(たけのこ)を生産する産地です。たけのこの栽培時に発生する間伐材を生産者から買取り、自社工場で竹集成材に加工し、オリジナル家具を製造しています。集成材に使用しない部分も全て価値あるものに変え、最終的には土に還ることで美しい竹林になっていく、そんな循環型サイクルを目指し取組んでいます。 (竹の特性) ①環境に優しい(成長が早い:3年,...,5年で材料として使用可能、植木の必要が無い)⇒ サステナブルな素材 ②硬くて丈夫(曲げ圧縮度が高い、長さに対しての狂いが少ない、耐久性が高い) ③人体に優しい(抗菌性、殺菌性、脱臭性に優れている、リラックス効果がある) 竹は持続可能な森林資源の利用に大きく貢献するサステナブルな素材です。 竹製品を通じて、竹素材の魅力を発信し、「竹循環型社会」を広める取組みを進めていきます。	倉敷市	<a href="http://www.teori.co.jp">http://www.teori.co.jp</a>
18	株式会社エリス	小水力発電	地球温暖化問題やエネルギーセキュリティの観点などから、化石燃料に代わる純国産のクリーンエネルギーの必要性が長く叫ばれてきた。再エネといえば、太陽光、風力が脚光を浴びていたが、それぞれ、雲行きが怪しい。要因として、まず太陽光は、設置場所の減少、自家消費要件の創設、風力に関しては、福島沖での企業連携社会実験が失敗し、技術レベルが欧米に劣る。適地の高さによって風量が異なることで事業収支の不透明さ、など懸念材料が多い。そのため、ここに来て再度小水力発電に注目が集まりつつある。理由は、CO2排出量が最も少ないエネルギーであることや、昼夜年間を通して安定した電力が得られる点などが挙げられる。しかしながら、今まで普及が進んでいなかった。その小水力の今までの普及阻害要因が今回の研究開発によって解消された。	岡山市	<a href="https://waterweco.com/">https://waterweco.com/</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
19	株式会社廣榮堂	食を通じて地域社会の創造・発展に貢献	①「安心安全な菓子づくりは素材づくり」から創業時の手づくりの味にこだわった「むかし吉備団子」の主原料であるもち米は、岡山市高松地区の契約農家の特別栽培米を使用している。安心安全な素材の原点である「かけがえのない田んぼ」を守るために、田植え・稲刈りの時期には社員が足を運んでいる ②安心安全な菓子を「全てのお客様」へお届けするお客様に健康と安全、天然の美味しさをお届けする為、北海道産のもち米や小豆をはじめ、黍、黒糖、海塩などより確かな国産原材料にこだわっている ③地域へのつながり・学びの場に毎年年末に地域の方を招いた「餅つき」を実施。お子様には餅つき体験をしていただくなど日本の「食文化の継承の場」となっております。また工場見学も実施しており小学校や幼稚園、企業や観光協会など約100団体、2,000人を受け入れている ④女性の活躍する職場と様々な働き方への理解産休取得・育休制度最大3年など女性の働き方への理解。社員数の7割を占める女性が、「輝いて働ける」職場環境を整えている ⑤「元氣、勇氣、きびだんご!」菓子の持つ力を信じる災害時には被災地への寄付、きびだんごを社員直筆のお手紙と共に寄贈。新型コロナウイルス感染拡大の際には地域の学童クラブや保育園をはじめ、医療従事者へ菓子の寄付を行った	岡山市	<a href="https://koeido.co.jp">https://koeido.co.jp</a>
20	藤クリーン株式会社	リサイクルセンターにおける産業廃棄物のリサイクル、環境教育推進、地域防災活動	・リサイクルセンターにおいて、コンクリートガラ、木くず、廃プラスチックなどの産業廃棄物のリサイクルに注力することで、地域の天然資源保全、自然環境破壊に伴う地球温暖化防止に寄与しています。 ・通常あまり目にする事のない産業廃棄物のリサイクルの様子やリサイクル品を活用したガーデンの見学を実施することで、リサイクルと自然環境保全の大切さに気づき、環境に優しい行動に結び付けていただくことを目指しています。 ・洪水等の危険性が高い海拔0m地域にあって、周囲より約2m高いリサイクルセンターを災害発生時の避難場所とする協定を岡山市と締結するとともに、備蓄倉庫、救命ボートを設置して地域の防災活動に協力しています。	岡山市	<a href="https://kk-fuji-clean.jp/">https://kk-fuji-clean.jp/</a>
21	岡山放送株式会社	“誰一人情報から取り残されない”情報のバリアフリー社会の実現を目指した取組み	岡山放送では、国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の“誰一人取り残さない”基本理念のもと、放送局として活動を続けてきました。「手話が語る福祉」は“手話は言語”を理念に、聴覚障害者へ情報を届け続け、今年で28年目を迎えました。この6月より慶應義塾大学との共同研究を開始し、調査研究を通して学術的にも考察していきます。「OHKアナウンサー出張朗読会」は小中学校や老人ホームなど、のべ130か所以上で開催し、10年目を迎える取組みとなりました。また今年新たに視覚障害者への情報提供の取組みとして、音訳活動を開始しました。これら様々な活動を通じて、情報のバリアフリー社会の実現に向けて、そしてSDGs達成の一助となる活動を継続していきます。	岡山市北区下石井 2-10-12	<a href="https://www.ohk.co.jp">https://www.ohk.co.jp</a>
22	有限会社 九大製材所	香り楽しむエコな木配り入浴アイテム「Hinokiss&Sukisugi」	美作材と呼ばれる美作地域で採れる良質な桧・杉を木製品加工する際に出るカンナ屑を100%活用した商品で、桧の「Hinokiss」と杉の「Sukisugi」の2種類を展開中のお風呂に入れて使う入浴アイテムである。カンナ屑の入った布袋をお風呂に入れることで香りを楽しんで頂く商品で、オンラインショップや店舗などで手頃な価格での販売に加え、企業のお客様向けへのノベルティグッズ、工房に来られたお客様へのお土産、地元・湯郷温泉の旅館では宿泊客向けにお部屋のアメニティとして活用して頂くなどして、大切な方へのプレゼントや自分へのご褒美、おもてなしの一つとして様々なシーンで活用して頂いている。	美作市	なし
23	株式会社大町	平和と公正をすべての人に	3月12日を「だかしの日」に制定しました。「だかしの日」の約束事は、「だかしと笑顔の交換日」です。特に、障がい、貧困や虐待、被災で苦しむ子どもたちを応援し、子どもの笑顔から大人の笑顔へつなげ、3月12日は、世界中の争いや差別、偏見のない“1日”を創っていきます。	瀬戸内市	<a href="https://ohmachi-site.co.jp/">https://ohmachi-site.co.jp/</a>
24	産官学で取り組む『岡山道路パトロール隊』	産官学で取り組む『岡山道路パトロール隊』	この取り組みは、岡山県下土木系学科高校生（岡山工業高校土木科、笠岡工業高校環境土木科、津山工業高校土木科）が、学校近隣の国道管理者である国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所 岡山、玉島、津山の各出張所、及び、この区間の保守・維持業者である、世紀東急工業㈱、日本道路㈱、㈱NIPPOからの協力を得、身近な社会インフラである道路の異常を発見し報告するといった社会インフラメンテナンス活動だ。高校生にとって身近なICT機器であるスマートフォンを活用し、歩道からのパトロールを実施、この区間の道路維持管理の一助を担っている。	岡山市	なし
25	岡山ビューホテル(株式会社セントラル・パーク)	子育て家庭支援のためのエンカル商品開発販売	コロナ禍で打撃を受けて生活困窮しているひとり親家庭をはじめとする子育て家庭支援のための雇用を促進します。またホテルに宿泊や食事に招待してなかなか取れない家族時間を創出していくなど地域社会と繋がりが自立していける支援を行っています。そのためにホテルオリジナルのエンカル商品を販売し、この売上の一部を子育て家庭支援に使います。開発には地元の企業や生産者、就労支援施設などとタイアップして他では手に入れないエンカル商品を生み出し、これを岡山だけでなく、全国ひいては世界へと販路拡大していくことによりこの社会問題に一人でも多くの人に認知してもらい、子育て家庭への応援者を増やしていきたいと考えています。	岡山市	<a href="https://www.okaview.jp">https://www.okaview.jp</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
26	リコージャパン株式会社 岡山支社	リコーグループ創業精神「三愛精神」の実践にむけて by SDGs ~実践したことを地域に伝え共に成長する~ 三愛精神 「人を受し 国を受し 勤めを受す」 SDGsを学び、実践し、事業を通して社会に伝え、SDGsの輪を広げる活動	【目的】 異業種交流会を企画・運営することで、地域の企業がイノベーションをおこすきっかけづくりと、経営基盤強化につながる活動を支援してきました。 この活動とSDGsをつなげることで、地方創生につなげられるSDGs推進企業の育成を目的としています。 そして本業についても事業を通じて社会貢献することを目指します 【実施項目】 ・オープンオフィス(リコージャパンの取り組みを実際に見ていただく) ・SDGs無料セミナー(地域への啓もう活動) ・企業、団体へのSDGs宣言支援活動(無償) ・SDGs講義の運営(企業でSDGsを推進する社員を集めた異業種プラットフォーム 1回/3か月)	岡山市	<a href="https://www.ricoh.co.jp/sales/about">https://www.ricoh.co.jp/sales/about</a>
27	公益社団法人 岡山青年会議所	地元基盤企業から始めるSDGs	岡山市内の地元基盤企業(岡山青年会議所メンバー約100社)のSDGsを取り入れていない企業に対して、SDGsの概念、持続可能性などをセミナーやブレインストーミングなどにより具体的に企業の特性に合い多様性に合わせた持続可能性を持った事業として各企業がSDGsを実際にスタートさせる啓蒙活動	岡山市	<a href="https://www.okjc.org/">https://www.okjc.org/</a>
28	岡山中学校 メガスライム39号開発チーム	河川の堤防決壊前または直後に被害を最小限にするプリベントロボットの作製	昨年、中学1年生の6名が、近年頻発する豪雨による水害問題を解決するために「河川の堤防決壊前または直後に被害を最小限にするプリベントロボットの作製」に取り組みました。 理科実験室で簡単な堤防決壊装置を作製し、リモコン操作で風船を用いて堤防の決壊を塞ぐことに成功しました。今年は中学2年になり、プリベントロボットを実用化するために次のステップとして、屋外で使用可能な太陽電池を採用し、遠距離でもロボットを稼働させられるように現在も改良中です。 昨年5月に2020サイエンスキャッスル研究賞THK賞に応募し、採択されました。12月に全国で採択された10校(高校8校、中学2校)による成果発表会では、1校だけに贈られる「ベスト開発賞」を受賞しました。2021サイエンスキャッスル研究賞THK賞にも応募し、2年連続で採択されました。	岡山市	なし
29	株式会社岡田商運	女性の雇用促進、障害者雇用の促進	運輸業という特性上、健康で体力のある男性に従業員が偏っていた。 新規事業の立ち上げを柱とし、業務に多様性を持たせ、さらにそれらの業務を切り分けることで、男女問わず、また障害があっても、個々の能力を活かして働くことができる企業を目指す。また、賃金・待遇に関しても性別や障害による差異を無くし、同一価値の労働についての同一賃金を達成する。 ジェンダー差別に関しては、男性の育児休暇取得を促進することで、従業員の家族にも配慮する。	岡山市	<a href="https://www.okasyo.jp/">https://www.okasyo.jp/</a>
30	美作大学・美作大学短期大学部	美作大学「無料野菜スタンド」	地域の方や教職員が生産した農産物の余剰分や、形や大きさが不揃いの野菜や米などを無償で提供してもらい学生に配布する仕組み。 本学は、大学と短大合わせて約1100名の学生が在籍し、その7割が一人暮らしである。アパートや寮で自炊生活をしている学生にとっても、余った農産物を無駄にせず有効に活用してもらえる生産者にとっても、双方メリットのある取り組みとなっている。定期的に様々な農作物が届けられ、その回数は年に50回以上にのぼっている。 キャンパス中庭に「無料野菜スタンド」と書かれたのぼり旗が上がり、農作物を中心に様々な食材が並び毎行列がでるほど好評。 本学の藤原修己理事長も、毎年1000本以上の大根を実家の畑で育て学生に届けている。 2020年10月より、津山工業高等専門学校と、この「無料野菜スタンド」の取り組みを協働して行っている。 両校に農産物の受け入れ窓口を設け、物品を交換しつつ無駄のないように学生へ行きわたる仕組み。 これは、2018年11月1日に美作大学と津山高専が行ったSDGs共同宣言に関わる取り組みの一環として行っており、SDGsの目標にも提示されている「食品ロス削減」につながるものである。 さらに、コロナ禍でアルバイト収入が減り、経済的に困窮する大学生への支援が全国的に広がる中、2021年度より「無料野菜スタンド」と名称を変え、さらなる拡充を図り、5月には岡山県美咲町の連携が開始した。この取り組みは、「地域と連携した学生支援」「自治体との連携した食品ロス削減への取り組み」等の視点から進めている。 この動きと連動する形で、津山市内の農業者からも大量の余剰野菜(サツマイモ約1.5t等)なども届けられており、SDGsへ貢献している。	津山市	<a href="https://mimasaka.jp/">https://mimasaka.jp/</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
31	みずしま滞在型環境学習コンソーシアム	持続可能な地域づくりを担う、若者の学びを支える仕組みづくり	持続可能な地域づくりを実現するために、企業と連携した取り組みを進めること、そして次世代を担う高校生や大学生といった若者の地域での学びを支える仕組みづくりをおこなっている。 高校生には、地域の様々な関係者をつなぐことで、コンビナートについて学ぶツアーのガイド役を提供する等、地域での学びをサポートした。また、大学生向けには「SDGsを現場で学ぶ」モデルツアーの実施や、商店街の未利用地活用のためのワークショップと組み合わせた研修など、実践的に学ぶプログラムを実施した。こうした取り組みを通じて、地域課題を共有・見える化し、学びの場で議論ができるようになった。 これらの活動は、毎年シンポジウムで報告し、多数の地域住民が参加することで、学びを通じた持続可能な地域づくりへの理解が深まっている。	倉敷市	<a href="https://sdgs.mizushima-f.or.jp/">https://sdgs.mizushima-f.or.jp/</a>
32	株式会社ありがとうファーム	中小企業のSDGsパートナーとなり、社会課題の解決に貢献。	全国に障がい者が960万人います。家族も含めると4,000万人の人が「障がい」と関係しています。 弊社はその4,000万人をマーケット層として捉え、企業が抱える問題の解決に繋がる提案を行ってきました。 ①企業にイノベーションに繋がる提案を行い、新商品、新サービスの開発しています。 ②ハンディキャップアーティストのアートをレンタルアート、パッケージデザイン、工事現場の仮囲いなど企業のSDGsの広報として使用しています。 ③企業廃材を材料として活用するワークショップイベントハブラボキッズを主催しています。 取り組みを通じ、障がいをを持ったメンバーが自分たちの仕事により良い社会を作る原動力になっているという実感を持つ事が出来ています。	岡山市	<a href="https://www.arigatou-farm.com/">https://www.arigatou-farm.com/</a>
33	倉敷グリーンファーム	苔玉づくりが生み出す愛着と交流で、心豊かな生活を	苔玉づくりには様々な方法がありますが、倉敷グリーンファームではケト土という粘土質の土をじっくり練るところから始めます。その分、出来上がった苔玉には深い愛着が生まれます。体験時には世話の仕方も実践してもらいますが、環境によってはうまく育たないこともあります。そのためメンテナンスサービスの利用も勧めています。弱りかけた苔玉を何とかしたい、と持ち込まれるお客様の思いや生育環境についての情報は、苔玉の品質向上や育て方の説明の改善にもつながります。メンテナンスがあることで初めての方にも安心していただけたと同時に、新たにご家族や同僚を誘って2度目の体験に来られたり、職場などへの出張教室のご依頼にもつながるなど、倉敷グリーンファームの苔玉づくりは継続的な交流の場としても機能しています。	倉敷市	<a href="https://www.kurashikigf.com">https://www.kurashikigf.com</a>
34	特定非営利活動法人 ジャパンハーベスト	地域に笑顔の花が咲く！倉庫を持たない食品寄付活動「フードシェアリング活動」を通じて、みんながつながる社会をつくる！	私たちは、メンバーそれぞれが生活する地域での「持続可能なフードバンクの実現」を目指し、週7日活動をしています。それぞれの生活圏内にあるスーパーマーケット等から食品を譲り受け、その地域の福祉団体等に寄付しているため、倉庫をもたないフードバンク活動を展開しています。メンバーはそれぞれ、岡山市、倉敷市、総社市で子ども食堂の代表を務めており、各地域の社会福祉協議会等と連携が取れています。また、農家であるメンバーは、農家仲間と声をかけ、廃棄前の野菜等を子ども食堂に寄付する活動を開始し、自らが障がい者であるメンバーは、生活困窮世帯30世帯に直接食品を寄付しています。また、当団体代表は世界のフードバンク活動に参加した経験から、そのノウハウを他団体に提供しています。このように、私たちはメンバーひとりひとりの機動力と発想力を最大限生かし、世の中に貢献する活動を展開しています。	加賀郡吉備中央町	<a href="https://m.facebook.com/FoodsharingJapan/">https://m.facebook.com/FoodsharingJapan/</a>
35	特定非営利活動法人 ころのさと	祝福されるまちづくりプロジェクト	自然に沿った持続可能な農業の方法で畑を耕し、無農薬無化学肥料の野菜やお米を地域に住まう妊産婦に提供する。それによって、その子どもが誕生するときに、母親や家族だけではなく、作物を育て収穫した人たちにも祝福される仕組みをつくる。母親も自然な野菜やお米を受け取ることで利益を享受でき、妊娠中の孤立を防ぎ、子育ての悩みを共有できるコミュニティを育成し、その土地に生まれる命をその土地で暮らす人が祝福する文化を醸成することを目的とする。	倉敷市	<a href="https://konosato.org/">https://konosato.org/</a> <a href="https://www.facebook.com/npo.konosato/">https://www.facebook.com/npo.konosato/</a>
36	株式会社 サンワプライニング	課題を解決し未来へ繋ぐ事業を通して地域社会と人々に未来を！	まず健康ですが2人に1人が、ガンになるという時代にいかに弊社は、課題に向き合うか考え、地域社会や人々にSNSやHP、リアルにて寄添う活動を展開しています。 寄添う活動とは、コロナ下においてガンの検診率が下がっているため早期検診をしてもらうために情報提供を行ったり、厚生労働省が参画しているガン対策推進企業アクションにも登録しています。 病気の予防としては、スポーツの促進や健康診断の普及、経済産業省の推進している健康経営優良認定法人に認定を受けて積極的に地域企業に取得促進を促しています。 社会問題でもあります2025年問題に対して、爆発的な高齢者問題、労働人口減少等にも取り組んでいます。 地域社会や人々にマネーリテラシーの向上のためのスタッフとお客様のセミナー等を積極的に実施しています。 倉敷市と弊社が提携しています認知症サポーター制度の活用と公的介護の情報提供、社会保険の周知徹底をおこなう社会保険マスターを取得し、公的年金制度の情報提供等を行っています。 公的年金制度は、全スタッフで勉強会を開催し地域社会に情報を提供しています。	倉敷市	<a href="https://www.sanwap-ins.jp">https://www.sanwap-ins.jp</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
37	コノヒトカンプロジェクト	コノヒトカンプロジェクト	タンパク質、カルシウムが豊富で一缶を約2合のご飯と混ぜるだけで三、四人のお腹を満たし子供たちが自ら調理できる事ができる缶詰。 精肉工場、魚加工工場、農家からの協力を得て廃棄されている食材を買い取り、岡山県の料理長団体と連携する事により、新しい物へと生まれ変わらせ、付加価値をつける。 そして、食を必要とする貧困家庭に着目する事で、貧困は家庭だけの問題ではなく、地域社会の問題と捉え、地域みんなで貧困家庭を支える取り組みを増やす。 誰でも関わり合える(大人も子供も顔の見える)プラットホームをつくり、地域と企業が繋がる事で岡山の結束を深め、誰かの為に一生懸命になれる大人達の姿を子供達に伝えていく活動を目指しています。	倉敷市	なし
38	株式会社 就労支援ラボラトリー	障がい者の社会参加型よつばしトナープロジェクト(サーキュラー・エコノミーを福祉の力で)	リサイクルトナー再生作業から物流まで一括して福祉で担い、障がい者施設で完結させるCE普及の取り組み。製造技術・販路開拓・プリンタの貸し出し及び保守管理は企業が担うことで、重度障がい者の社会参加が可能であり、企業と協同で行う仕組みである。 この仕組みを岡山から全国の就労継続支援B型事業所に拡げること、福祉から一般社会に大きなメリットを見出し、障がい者の社会参加がより有益なことで有ることを示していく。 よつばしトナー製造は、内職型作業の工賃より単価が高く、高い収益性のある仕事である。また、エンドユーザーは何処で誰が製造した商品かを理解し使用するため、消費者が使用するだけで社会課題に参加でき、より多くの人にエンカル消費を意識してもらい、エンカルプレイヤーとして参加し、社会課題を解決していく事をゴールとする。	倉敷市	<a href="http://syu-labo.jp/index.html/">http://syu-labo.jp/index.html/</a>
39	株式会社建房	発達障がいを持つご本人・家族に配慮した「だれひとり取り残さない家づくり」	SDGsの理念に基づいた家づくりの新しいコンセプト『だれひとり取り残さない家づくり』に取り組んでいます。 「だれひとり取り残さない家づくり」とは、発達障がいを持ち、生きづらさを抱えながら生活している子どもやその兄弟、ご家族が幸せに暮らせる設計を最初から組み込んだ家づくりです。山陽学園大学の土地玲子准教授が監修となり、保護者・支援員・障がい者当事者50人の声をきき、アイデアを掲載した16ページパンフレットにまとめ無料配布し、2021年3月1日公開から5ヶ月間で県内外から約50の申込・問合せを頂いています。今後はオンライン座談会を定期開催し、課題・解決策の深堀を進め、「だれひとり取り残さない家」を県内外に展開します。	倉敷市	<a href="https://kenbo.co.jp/">https://kenbo.co.jp/</a>
40	第一生命保険株式会社岡山支社	「ACP(アドバンス・ケア・プランニング)普及啓発活動」	ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、病気になった人の将来の変化に備えるため、これから先の医療・ケアの進め方について本人や家族、医療関係者等が繰り返し話し合い、共有することです。厚生労働省が普及啓発を進めており、近年岡山県もACPIに力を入れています。2019年3月より岡山県と第一生命が協働でACP普及啓発活動を行っています。岡山県と協力してACP普及リーフレット『話しましょう、これからのことリーフレット』を制作し、県民へ配布活動を行っています。第一生命岡山支社の生涯設計デザイナーが毎年の安心の定期点検でお客様宅を訪問する際にこのリーフレットをお客様とご家族にご案内し、その場でお客様の望む終末期医療やゆたかな老後について話し合ってください、ACPIについて考えていただくきっかけづくりをしています。	岡山市	<a href="https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/index.html">https://www.dai-ichi-life-hd.com/sustainability/index.html</a>
41	株式会社おもちゃ王国	持続可能な未来に生きる、子供たちを育む体験活動: 「あそびの学校」	「あそびの学校」は小学生以下の子供たちを対象とした、遊びと学びがシームレスにつながった「本物体験」のイベントプログラムで、年間を通じて様々な体験活動を実施している。「遊びは最高の学び」を合言葉に、社会体験や自然体験、スポーツ体験、日本の伝統文化体験などを、他の企業や団体、大学、プロスポーツチームと連携して子供たちに提供し、子供たちの成長を支援する。 子供たちが自らの夢を発見するきっかけをつくるとともに、地域教育の一翼を担うべく、地域社会で失われた他者体験(先生や友達以外の人との関わり)の機会を創出する。 そして子供たちがSDGsの目標に向かって行動できる人物となるように、遊びを通じて子供たちのSDGsへの取り組みをサポートする。	玉野市	<a href="https://www.omochaoukoku.co.jp/index.php">https://www.omochaoukoku.co.jp/index.php</a>
42	株式会社マルイ	『マルイの食育事業』	マルイではSDGsは持続可能な循環型社会の形成につながるものとして、ワークバランスに組み込みながら、「地域貢献」「環境」「商品・店舗」「食育推進」「人材育成」の5事業を設定し、積極的に取り組むことでSDGsの達成に邁進しております。中でも「食育推進」の活動では、2006年に営業本部食育推進室を発足し、毎月19日を『マルイの食育の日』として、全店舗でメニュー提案の実施、地域の小学生を対象とした『食育月間子ども絵画コンクール』の主催、食のイベントであるフードフェスタやマルコラの開催、自然の中で楽しく環境について学べる『食とエコの体験キャンプ』の実施、美作大学や津山東高等学校と連携した商品開発など、お客様ひとりひとりにあった企画の運営を日々取り組んでいます。	津山市	<a href="https://www.maruilife.co.jp/">https://www.maruilife.co.jp/</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
4.3	三井住友信託銀行株式会社 岡山支店・岡山中央支店	森林信託を活用した社会課題の解決と地域活性化	日本の林業は、木材価格の長期低迷による従事者不足、適切な管理がされていないことによる放置森林の増加、相続手続きが行われていないことによる所有者不明森林の増加などの社会課題を抱えている。 当社は、こうした林業の川上における課題解決の一助として森林信託を開発した。施業管理や承継に不安を抱える森林所有者に代わった林業事業者への経営委託・収入管理を行い、収益を配当として還元するしくみである。これにより施業地が集約化でき、林業経営の効率化が図れるとともに、相続等による所有者不明森林の増加を防ぐことが可能になる。 また、大学との連携による ICT スマート精密林業の実現を支援することで若者や女性も参加しやすい魅力的な産業への転換を促すとともに、西粟倉村が支援する「西粟倉むらまると研究所」への寄付も行い、木材の新たな活用方法などサプライチェーン構築に貢献し持続可能な地域社会の実現を目指している。	岡山市	<a href="https://www.smtb.jp/">https://www.smtb.jp/</a>
4.4	株式会社ホテルグランヴィア岡山	お客様にも地球環境にもやさしい、おokayま地域一番店を目指して	当社では地球環境にやさしいホテルを目指し2011年度より環境改善活動に継続的に取り組んでいます。 活動の大きな柱は以下の3つです。 ①地球温暖化防止 (主な取り組み)館内照明の全館レベルでのLED化、客室への節水装置の導入、社内会議の完全ペーパーレス化 ②循環型社会の構築 (主な取り組み)分別排出の徹底によるリサイクル率の向上、食品廃棄物を使用したバイオガス発電事業への参画 ③地域・自然との共生 (主な取り組み)地域清掃活動への参加、エコキャップ運動、提供食材の「おokayま有機無農薬農産物」の登録 他にも、スタッフの働きやすい環境整備のためダイバーシティや子育て支援制度の推進に努めています。	岡山市	<a href="https://granvia-oka.co.jp/">https://granvia-oka.co.jp/</a>
4.5	株式会社the continue.	備前焼陶器ごみリサイクルRI-CO(リッコ)プロジェクト	備前焼の生産過程で廃棄される陶器ごみ(未使用品、生産量の約1割超)を回収、粉碎したものを再生陶器素材として商品を開発する取り組みです。 使用済み品を再度使用することを想定し、地域の備前焼粘土を用いて再生するとともに、建材など分離不可能なものへのダウンサイクルを回避し、再生サイクル回数を上げます。 備前焼産地が小規模産地であることと、備前焼粘土の収縮率の高さに着目し、陶器ごみ資源100%循環産地備前として世界的なモデルになることを目指します。	備前市	<a href="https://the-continue.com/">https://the-continue.com/</a>
4.6	株式会社ビザビ	オセラ別冊「知ることから始めよう。岡山のSDGs」を発行	地域情報誌『オセラ』の別冊として『知ることから始めよう。岡山』のSDGsを新創刊。今、世界中が注目している「SDGs」。壮大なテーマが掲げられ、ともしれば他人事にも感じられてしましますが、実は突き詰めてみれば、私たちの毎日の暮らしと大きくかかわっている問題です。「SDGsってどんなふうに取り組めばいいの」といった素朴な疑問に答えてもらったインタビュー記事をはじめ、岡山出身の藤原しおりさんと一緒に県内の市町村が発信するSDGsを学べるページや、県内の大学、企業などのSDGsへの取り組みを紹介するコーナーなど、岡山のことを長年見つけてきた『オセラ』の視点で今伝えたい、わが町のSDGs情報を紹介しています。	岡山市	<a href="https://www.vis-a-vis.co.jp/">https://www.vis-a-vis.co.jp/</a>
4.7	大和リース株式会社 岡山支店	『BRANCH 岡江北長瀬』を核としたまちづくり	複合商業施設『BRANCH 岡江北長瀬』の運営を通じて、持続可能なまちづくりを行っています。 多様なステークホルダーと連携し社会にとって良い取り組みを積極的に展開し、パートナー企業同士の交流により相乗効果を高める事で地域の魅力向上に貢献します。	岡山市	<a href="https://www.branch-sc.com/oka-kitanagase/">https://www.branch-sc.com/oka-kitanagase/</a> <a href="https://www.daiwalease.co.jp/">https://www.daiwalease.co.jp/</a>
4.8	NPO法人真庭あぐりガーデンプロジェクト	高齢者による地場産野菜の調理キット「お節介野菜」農福連携販売プロジェクト	本取組は、地域高齢者の介護予防事業としての通いの場である体操グループに声かけを行い、真庭市内で廃棄されている規格外野菜を活用して、高齢者の手仕事によるカット野菜やレシピ付き調理キットである「お節介野菜」を作る事業です。地域高齢者に手仕事や役割を創出し、収入だけでなく「生きがい」や「はりあい」、「活躍の場」の創出につなげていくとともに、地域農業の振興にも寄与していくものであり、地域課題解決の一端を担うことを目指しています。	真庭市	<a href="https://np0.maniwa-agurigarden.com/">https://np0.maniwa-agurigarden.com/</a>
4.9	富山学区安全・安心ネットワーク協議会	とみやまSDGs作戦	SDGsをまちづくりの中核と位置づけ、学区を挙げて取り組むものである。 ①令和2年度の総会において、「SDGsへの取り組み」が、活動計画として決議された。これを受けて「とみやまSDGs作戦」を構想した。 ②本作戦の展開につき、住民にアンケートを実施。98,3%の賛成が得られたので作戦を開始した。 ★配布5,122 回収2,088 回収率40,7% ③まずは、先行事例の「倉安川清掃」「百間川河川敷清掃」を全面的に後援。参加者が大幅に増えた。 ④「富山学区SDGsニュース」を発行。(4/1) ⑤「富山学区第2次まちづくり計画」(3ヶ年計画)に「とみやまSDGs作戦」を掲載した。 ⑥今後、小地域ケア会議に於いて具体策を議論、逐次実行に移す。	岡山市	なし



No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
50	一般社団法人北長瀬エリアマネジメント	「困った時はお互いさま」の助け合いを繋げる場の開放とコミュニティフリッジの運営	新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、特に学生とシングルマザーをはじめとした生活困窮者の支援に取り組んでいる。 1. 学校休校やオンライン化により困難を抱える高校生・大学生の支援として「コワーキング施設の無料貸与」を行い、100名以上の登録学生に対してWiFiの無料利用や、ipadや充電器などの無料貸出をし、学習環境の維持を支援。 2. 食料品や生活用品の支援を望むシングルマザー等に対して24時間いつでも・人目を気にせず・食料品や生活用品の提供を受けられる「コミュニティフリッジ」を日本で初めて開設。約400世帯を支援し、約600人の寄付者と約40の企業・団体に支えていただいている。	岡山市	<a href="https://kitanagase.jp/">https://kitanagase.jp/</a>
51	生活協同組合おかやまコープ	『私と誰かの笑顔につながるお買い物“エシカル消費”の推進』	「エシカル消費」は、SDGsの17の目標を実現するための重要な手段の一つです。おかやまコープでは、「私と誰かの笑顔につながるお買い物」として、地域・社会・環境・人々の4つの視点でエシカル消費を進めています。 おかやまコープには、エシカル消費につながる商品（生協牛乳、コープおかやま牛など）がたくさんあり、生産者やメーカーと共に商品学習、産地工場見学、農業体験などを通じて「エシカル消費」を学習し、利用につなげています。 今年度は、未来を担う子どもからおとなまで楽しめるよう、キャラクターも登場させながら、「身近にできる エシカルキャンペーン」に取り組んでいます。エシカル消費への理解と行動することで、SDGs目標達成を目指しています。	岡山市	<a href="https://okayama.coop/">https://okayama.coop/</a>
52	岡山大学教育学部附属中学校	SDGsを意識した総合的な学習の時間の取り組み	本校では、総合的な学習の時間を中心に本学で推進するSDGsとのつながりやマルチステークホルダーとの連携・協働を生かした学習プログラムの提案、実施を促進し、持続可能な社会づくりに主体的に参画できる生徒の育成に取り組んでいます。社会課題への関心を高める講座制授業（平和・福祉・国際・環境など）、3年間を見通したスパイラルな取り組み「インプット（第1学年）→ブレ探究（第2学年）→個人探究（第3学年）」、行政、NPO、外部・専門機関との連携などに留意しています。各学年の取り組みは、前期末に学習成果発表会で全校生徒・教職員・保護者・地域および関係者とともに共有し、PDCAサイクルやカリキュラムマネジメントにつなげています。	岡山市	<a href="https://chugaku.fuzoku.okayama-u.ac.jp/">https://chugaku.fuzoku.okayama-u.ac.jp/</a>
53	中の谷オンライン体操サロン	Zoomを利用したオンライン体操教室	毎週土曜日の朝10時から約1時間、オンラインコミュニケーションツール「zoom」を使用して、住民それぞれの自宅からオンライン体操に参加しています。理学療法士である小島一範も毎週参加し、理学療法士の立場から、それぞれの最適な運動メニューを提供したり、健康や運動に関する情報提供なども行っています。	岡山市	なし
54	株式会社ジュエリー・タナカ	SDGs真珠ハートプロジェクト	弊社の強みである思い入れのあるジュエリーを加工する技術こそこのコロナ禍のなか、そういった想いはより強いものとなりました。真珠のネックレスの長さ調整をした際に余った珠の寄付を募り、それをネックレスに加工し、ひとり親の家庭のお母さんにプレゼントするという取り組みは、その想いを具現化した取り組みの一つです。 新聞にも取り上げていただき、全国から多くの反響、そして、「ぜひ私の真珠を使ってください」との温かいお言葉をいただきました。この出来事は私達には宝石を通じて世の中に貢献するという使命があるという想いをより強いものにし、そこに共感してくれる方がいるという自信につながりました。創業者の想いをつなぎ、進化させ、宝石を通して世の中を心豊かなものにしていくという使命を胸に、ストーリーは継続していきます。	岡山市	<a href="https://j-tanaka.com/">https://j-tanaka.com/</a>
55	矢掛高校SDGsカードゲームチーム	SDGsカードをやらそう！	競争心及び好奇心を高め、地域の課題や解決策を考えさせ、思考能力を向上させるゲーム。進行内容として、最初にチーム分けをし、1人3枚ずつリソースカードを取り、1枚課題カードを取って開始する。リソースカードを用意した手作りの木の枝にマジックテープで貼り付け、アイデアを出し合う。枝の先端にある果物のところまで行き、果物を取り、代わりに解決カードを貼る。その後、解決カードを取り、これを繰り返す。手元のリソースカード3枚が全てなくなったら、3枚のリソースカードを取る。制限時間有り。制限時間経過後、取った果実の多いチームが優勝。その後、各グループでゲーム中に出し合ったアイデアを1つずつ全体で発表し合い、ゲーム終了となる。また、使用するものは全て手作りかつ、手軽に用意できるものとする。	小田郡矢掛町	なし
56	バイオディーゼル岡山株式会社	食品廃棄物をカーボンニュートラルなエネルギーに転換	バイオディーゼル岡山株式会社は2009年に操業を開始し、岡山市と連携して、学校給食、スーパー、コンビニエンスストア、食品製造工場、一般家庭などから排出される廃食用油を回収し、累計6,000kLのBDFを製造・販売してまいりました。これは、軽油換算(2.49t-CO2/kL)で、約15,000トンの二酸化炭素削減効果があります。 また、2019年に建設着手した「食品リサイクル・バイオガス発電事業」では、食品の調理残渣、廃棄物等を微生物を用いて、分解、発酵させ、発生したバイオガスを燃料に発電を行います。この電力もカーボンニュートラルな再生可能エネルギーであり、最大で年間に3900t-CO2/年の削減が見込まれます。 当社は食品廃棄物をカーボンニュートラルなエネルギーに変換することで、地球環境改善に貢献いたします。	岡山市	<a href="https://www.dowa-eco.co.jp/BDO/">https://www.dowa-eco.co.jp/BDO/</a>

No.	団体名	取組名	取組概要	所在地	参考HP等
57	岡山大学大学院教育学研究科「子どもと音楽」研究チーム	歌う学校づくり、歌う地域づくりによる子育て支援活動 「親子と地域をつなぐ大合唱祭:みんなで歌おう音楽会」	本活動は、歌う学校づくり、歌う地域づくりによる子育て支援活動の一環として取り組んでいる。近年、様々な形で子育て支援が展開されるようになったが、親子や地域と繋がりを持って、感動体験するような機会は少ない。歴史を遡れば、学校はもとより様々な機会と共に「歌うこと」で時を共有し絆を育み、その感動体験が大人になった時の生きる力に繋がっている事例が多く見られる。そこで、本活動は、学校や地域において共に「歌うこと」で人々とのつながりを意識できる「感動体験」の機会を作ることを目的として取り組んでいる。 また、音楽会では、専門家や本学の学生、そして参加者（親子・地域の人々等）がそれぞれの立場や世代を超えて、一緒に歌い合う・声を合わせるプログラムを展開している。	岡山市	なし
58	倉敷高等学校 商業科	倉敷発信プロジェクト	SDGsの目標の中で11番目「住み続けられるまちづくりを」の目標は、私たちの未来につながるという考えから、次世代を担う中学生、小学生を対象とした講演会（大原美術館理事長 大原あかね氏による）を開催した。その際、中学生たちに「SDGsについて一緒に考えてみよう」ということを提案し、高校生がSDGs取り組みについて説明し、倉敷の未来について、パネルディスカッションした。そのための講演会を企画、広報（集客）から運営まで実施する。 この活動を通して、地域についての理解を深め、興味を持つことで地域で働く意義や地域貢献について考えるきっかけとする。	倉敷市	<a href="https://www.kurashiki.ac.jp">https://www.kurashiki.ac.jp</a>
59	株式会社創心會	オンラインでつながる地域交流 -新しい形の子どもと高齢者の交流イベント-	2020年に入り、新型コロナウイルスの蔓延により、「新しい生活様式」に基づいた感染対策を余儀なくされ、今まで実施していた保育園や地域の子どもたちとの交流、ボランティアなどを招いた行事活動を自粛せざるを得なくなった。地域密着型サービスである創心會五感リハビリ倶楽部では、こうした活動が実施できないことはサービスの独自性が低下し、関係者への啓発力の低下、ご利用者満足度の低下につながり、結果として働くスタッフのモチベーション低下にもつながると感じていました。そこで、毎月の活動計画の中で日常的に実施している機能訓練や制作活動のマンネリ化防止やご利用者様やスタッフの意欲を引き出すため、オンラインを用いた地域交流イベントを企画、実施することにした。	倉敷市	<a href="https://www.soushinkai.com">https://www.soushinkai.com</a>
60	瀬戸内かきからアグリ推進協議会	瀬戸内の海とつながるおかやまの農畜産物 地域循環環境保全型事業「瀬戸内かきからアグリ」	瀬戸内海で水揚げされた牡蠣の殻(カキ殻)を農業分野で有効利用して農畜産物の生産性を高める、地域循環環境保全型事業「瀬戸内かきからアグリ」の事業振興を進めている。また、瀬戸内かきからアグリ基金を設立して収益の一部を里海再生活動(アマモ再生活動)に活用する仕組みを構築するなど、環境保全活動等にも積極的に参画している。	岡山市	<a href="http://www.satoumi.jp">http://www.satoumi.jp</a>